

年頭のごあいさつ

佐川町長
堀見 和道



新年明けましておめでとございませう。

町民の皆様におかれましては、晴れやかな新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、昨年中は町政運営に対しまして、様々な形でご参加、ご協力いただきましたことを改めて厚く御礼申し上げます。

町長として二期目の仕事になりました。一年4年間仕事をさせていただきました。また佐川町に根を張り生活をして、あらためて佐川町の人の優しさ、自然の美しさ、水やお米、野菜のおいしさを実感させていただきました。これからの4年間も、すべてのことに感謝を忘れず、「すべては佐川町のために、佐川町民の幸せのために」を理念として大切にしながら仕事に邁進して参ります。本年もよろしくお願い申し上げます。

孔子先生の「論語」のなかに、「子曰く、之を知る者は之を好むものに如かず。之を好む者は之を楽しむ者に如かず。」という章があります。「物事を理解し知っている人は、それを好きでいる人には及ばない。物事を好きでいる人は、それを心から楽しんでいる人には及ばない。」という意味になります。2500年ほど前の時代でも、学問に臨む姿勢として「楽しむことが最も大切である。」と教えています。佐川町の幸せなまちづくりにおいても、同じことが言えるのではないのでしょうか。集落活動センターの取組みや、健康づくりの運動など、自分が面白そうだなと思える「町のこと」「地域のこと」に参加していただき、心の底から楽しんでいただくことが、一人ひとりの元気につながり、

幸せの輪を広げるワクワクしたまちづくりにつながっていくのではないかと思います。住民の皆様には、ぜひ町の取組み、各地区の取組みを知っていただき、好きだなと思えること、興味のあることに参加していただき、心の底から楽しんでいただく、そんな一年間にしていただきたいと心から願っております。

今年、「文教のまち佐川」としての教育推進に取り組んでいきたいと考えております。具体的な事業としては、佐川町教育研究所を立ち上げ、ふるさと教育、不登校対策、学力対策に積極的に取り組んでいきます。また、佐川町らしい教育として「3つのしよく育」に焦点をあて、持続可能な幸せなまちづくりにつなげていきたいと考えております。「3つのしよく育」とは食事の「食」、植物の「植」、職業の「職」、この3つの視点を大切にしたいとふるさと教育を意味しており、持続可能で幸せな中山間地域のまちづくりを考える上で、とても大切な教育だと考えております。

少子高齢化が進み、人口も急激に減少している佐川町が、持続可能な幸せなまちであるためには、町民がお互いに相手を思いやり、尊重し、感謝の言葉を伝え、お互い様で支え合うことが根本的なところで大切なのではないかと考えております。住民の誰かが楽しんでやっていることを応援したり、人のお役に立ちたいと人助けをしている人を支え合ったり、みんなであつながり、支え合えれば、必ず佐川町は世界で一番の幸せなまちになると信じております。

年頭のごあいさつ

佐川町議会議長

永田 耕朗



新年あけましておめでとうございませう。

皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。新しい年が皆様にとりまして、素晴らしい年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

また、平素から佐川町議会に対しまして温かいご支援とご理解を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。

昨年の10月に、佐川町議会議員選挙が行われ、新人3名を含めた14名の新しい体制で議会がスタートいたしました。私も、議長に選任されまして早くも2ヶ月が過ぎました。新春を迎え、佐川町の更なる発展のため、これまで以上に奮闘して参りたいと決意を新たにしているところでございます。

さて、地方自治体を取り巻く環境は、依然として厳しく、特に人口減少が著しい地方にとっては経済情勢も含め、時代の先行きがますます不透明感を増しております。また、近年の地方分権の進展により、自治体の自主的な決定と責任が拡大しています。

本町の財政構造は、国や県への依存度が高いことから、厳正な財政運営が求められています。こうした中でも、低迷する第一次産業の振興、次代を担う子ども達の健全な育成や少子高齢化対策、高齢者などに対する医療・福祉対策、さらには防災対策など山積する課

題の解決に向けた取り組みを進めていかなければなりません。加えて昨年には、黒岩、加茂、斗賀野の3地区で地域の拠点となる集落活動センターが完成し、活動が始まりました。地域の住民が主役となって行う活動も積極的に推進していきたいと考えております。

議会におきましては、6年前から議会活性化協議会を立ち上げ、議会の活性化や議会活動の充実に向け協議を重ねてきました。今後とも継続して議会活性化に努めてまいります。また、議会の責務は、皆様方のご意見を行政の場に届け、政策として反映させていくことだと考えます。そのため、住民の皆様と意見交換を行う場として議会懇談会も毎年開催しており、貴重なご意見を頂き感謝しております。

私も議員は町民目線に立ち日々の研鑽と努力を重ね、信頼される議会を目指し、全力で取り組んで参る覚悟でございます。皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

